

●通年型カーリング場の建設について

札幌市では、公共施設としては全国で初めて、通年型のカーリング専用施設を建設します。この施設は、市民に新たなウィンタースポーツを楽しむ機会を提供するとともに、国際大会をはじめとした各種大会の開催や合宿の誘致、さらには体験型の観光など集客交流にも活用することを目的とするものです。

札幌におけるウィンタースポーツの代名詞であるスキーやスケートに加え、カーリング競技も振興させることにより、ウィンタースポーツの活性化を図り、スポーツを通じて札幌の魅力の世界に発信していきます。

1 施設概要

- | | |
|------------|----------------------------------|
| (1) 建設場所 | 札幌市豊平区月寒東1条9丁目（月寒体育館の隣接地） |
| (2) 敷地面積 | 約 5,373 m ² |
| (3) 延べ床面積 | 約 3,375 m ² |
| (4) 構造等 | 鉄筋コンクリート造（屋根S造）2階建て |
| (5) 駐車場台数 | 50台＋車いす利用者用1台（月寒体育館の既存駐車場は約150台） |
| (6) シート数 | 5シート ※ シート：競技が行われるレーン |
| (7) 観客席数 | 固定席208席、車いす席16席 |
| (8) 観客収容人数 | 約1,000人（仮設席・立ち見席を含む） |
| (9) 建設費 | 14億5千万円 |
| (10) アクセス | 地下鉄「月寒中央駅」から徒歩約5分（約400m） |

2 スケジュール（予定）

平成23年10月 工事着手
平成24年9月 オープン

3 施設の特徴

- (1) 新しい市民スポーツの拠点
 - ① 「都市型」「通年型」のカーリング場
 - ・ 公共施設では、全国初の「通年型」カーリング専用施設
 - ・ 地下鉄駅に近接した「都市型」カーリング専用施設
 - ・ 隣接する月寒体育館の通年型スケートリンク（アイスホッケー、フィギュアスケート）と併せて市民にウィンタースポーツを楽しむ機会を提供
 - ② 子どもやお年寄り、障がいのある方も気軽に体験できる施設
 - ・ 車いす対応多目的トイレ（各階）やエレベーターを設置
 - ・ アリーナまでの段差をなくしたバリアフリー構造で、チェアカーリング（車いすカーリング）競技も可能
 - ・ 観覧席224席（車いす用観覧席16席含む）
 - ・ アリーナを見渡せる多目的ホールからも観戦可能

(2) 世界に札幌を発信する拠点

① 国際大会や全国大会など大規模大会の開催が可能な施設

- ・ 国際大会など大規模な大会が開催できるよう、5シートを備えるほか、ドーピング検査室やジャッジ席を整備
- ・ 国際大会に対応した質の高いアイスメイクが可能な設備（環境配慮型高性能製氷機、純水装置、アイスマシンなど）
- ・ メディアの取材に配慮した設備（中継車用スペース、カメラつり下げ装置、カメラ撮影スペースなど）

② 世界レベルで活躍する選手の練習活動を支援

- ・ 通年で利用できる特性を生かして、世界レベルで活躍する選手の練習場としての利用や全国各地からの合宿での利用など、選手活動を練習面から支援

(3) 環境に配慮した施設

- ・ 外断熱の採用（安定した温熱環境の確保と施設の長寿命化）
- ・ 太陽光発電設備の導入（発電容量：30kW）
- ・ 冷暖房空調設備として地中熱ヒートポンプの導入
- ・ ペレットストーブの設置
- ・ LED照明を共用スペースで使用

(4) 道産材の使用

道産材レンガ、道産木材、札幌軟石等を使用

問い合わせ先

観光文化局スポーツ部施設課 笠嶋、辻

電話：211-3045

